

ジンバブエ無償資金協力「南北回廊北部区間道路改修計画」起工式

8月26日、岩藤大使は、西マシヨナランド州フルングウェ郡マクチにおいて行われたジンバブエ無償資金協力「南北回廊北部区間道路改修計画」の起工式に出席しました。

南北回廊北部区間はザンビアとの国境を結ぶ重要な幹線道路であり、今回の事業では、山岳地帯で交通事故が多く、改良の必要性が高い道路区間6.5kmについて、日本の技術力を活用して改良工事が行われるものです。

起工式には、ムナンガグワ大統領、運輸・インフラ開発大臣などの多数の政府関係者や、工事関係者、地元関係者など1000人以上が参加し、盛大に行われました。

岩藤大使は、ムナンガグワ大統領がTICAD出席のため本日日本へ向けてジンバブエを出発する中で起工式へ参加していることに大いに感謝すること、事業開始に関しJICA等の本事業関係者へ感謝すること、ジンバブエ政府が他国との陸路での連結を改善し経済活動を促進することに日本は支援していくこと、アジアとアフリカとの間の連結性を高めるため、日本がインド洋、太平洋等海洋における自由な航行を含む法の支配確保を促進していること、建設事業を通じて雇用の創出や技術移転が期待されること等を述べました。

ムナンガグワ大統領は、日本政府によるチルド橋建設やニャコンバ灌漑事業などインフラ開発の継続的な支援に感謝すること、この事業開始は二国間の関係強化に大変重要であり更なる関係強化のために本日からTICAD7に参加するため訪日すること、日本は科学技術やイノベーションに対して強い競争力を持っておりジンバブエにおける多くの建設事業に活用したいこと、気候変動に関して日本は農業分野で多くの知見を有しておりこの分野において関係強化が必要であること、この道路事業は陸で各地へつながる当国において交通、人、物資の移動に関して大変重要であること等を述べました。

当日夜、ムナンガグワ大統領は、TICAD7出席のため、日本へ向けてジンバブエを発ちました。



起工式会場



ムナンガグワ大統領他出席者



大使スピーチ



マティザ運輸・インフラ開発大臣スピーチ



ムナンガグワ大統領スピーチ



大統領による起工の様子